

令和6年度

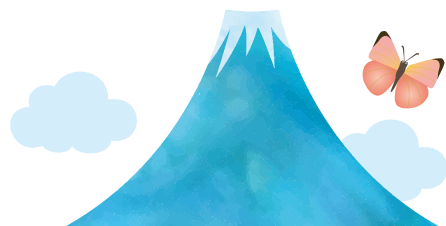
富士市いきものマップ

富士市いきもの調査は、「生物多様性ふじ戦略」の重点プロジェクトのひとつで、調査種（9種）について、以下により実施しました。

- 【目的】①いきものの生息生育状況及び自然環境の変化を把握すること
②自然環境に触れることで身近な環境への興味・関心を深めること
③生物多様性の認知度を高めること

【参加者】一般市民

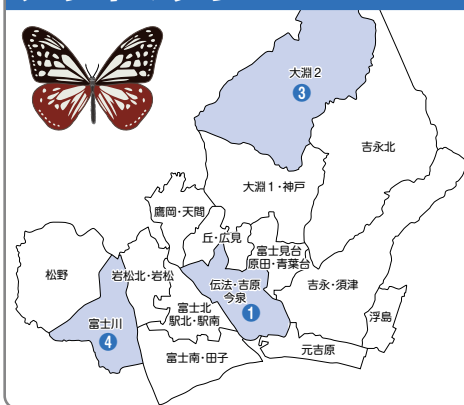
【調査期間】令和6年5月～10月



トノサマガエル(3件)(前回2件)



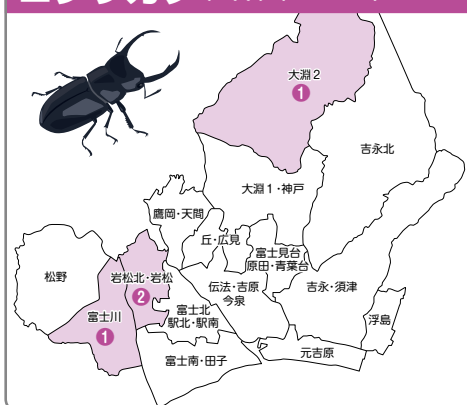
アサギマダラ(8件)(前回13件)



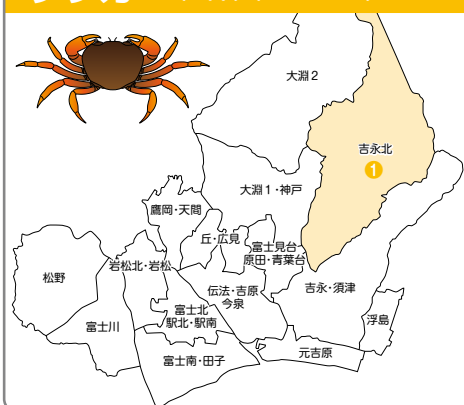
カルガモ(6件)(前回24件)



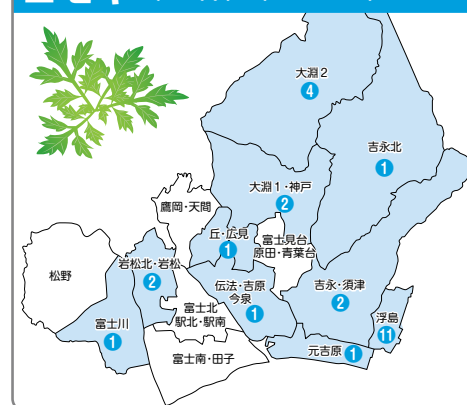
コクワガタ(4件)(前回6件)



サワガニ(1件)(前回10件)



ヨモギ(26件)(前回22件)



カダヤシ(14件)(前回4件)



ブタナ(8件)(前回15件)



カミツキガメ(0件)(前回0件)



● いきものが確認された場所を色付けしてあります。 ● 地区名の下に数字は報告されたいきもの数です。
(ご注意)この調査でいきものが確認できなくても、その地区にそのいきものがないというわけではありません。

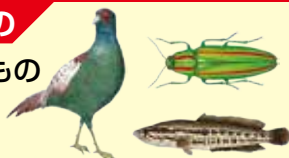
調査対象種以外に確認できたいきもの

◆ 在来種：昔からその地域にいるいきもの

・キジ ・タマムシ

◆ 外来種：外国由来のいきもの

・ライギョ ・スキムリンゴガイ (ジャンボタニシ)



たくさん確認できた いきものベスト3

1 ニホンジカ 2 シオカラトンボ

3 (同率) ツバメ、クロベンケイガニ (調査種を除く)



富士市環境部環境保全課 (令和7年2月発行)